

【臨床心理学コース】

■ 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

<前期博士課程>

臨床心理学コースでは、高度な臨床心理学的知識と人間の心理・身体・生活に関する幅広い知識を習得する。そのために所定の期間在学し、所定の単位を取得し、修士論文に合格した者に学位が授与される。

1. 臨床心理学分野における高度な専門知識の習得
 - ・臨床心理学における基礎知識、幅広い専門知識の習得、臨床心理学的課題の分析等の研究活動を通して、心理臨床実践の計画・実践・評価・改善を行うことができる。
2. 臨床心理分野における技能並びに基礎的な素養の習得
 - ・高度な専門性を身につけ、継続的な研鑽を行っていく素養を涵養し、高度な専門業務に従事するための技能を身につける。
3. 臨床心理学分野の発展に貢献し、他の領域にも応用展開できる能力の取得
 - ・医療・教育・司法・福祉・産業など多領域において、他の専門職と連携し、心理臨床学のエッセンスを十全に生かし、新たな連携や社会貢献を創出していくことができる発想力を身につける。

<後期博士課程>

- ・後期博士課程では、自立的に研究活動を行い、また、高度な専門業務に従事するために必要となる感性と知性を身につけ、高度な研究や実践に携わることのできる学識を涵養することが、課程修了の要件となる。
- ・専門分野において、第一線で活躍し、社会的に意義のある提言していくことができる知識と実践力を有し、研究を内外に発表していくこと。
- ・グローバルとミクロな視点を有し、臨床心理学的な知識及び職業的な倫理観を有した研究・実践者として社会に貢献ができること。

■ 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

<前期博士課程>

1. 学位授与の方針に挙げている学習成果の達成のため、文理融合の学際的な人間理解が可能な臨床心理学に関する専門科目、基礎選択科目をからなるカリキュラム構成を行っている。なお、当コースは公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会

より、臨床心理士受験資格に関する第1種大学院コースの認定を受け、臨床心理士養成を担い、協会が指定している講義科目、学内・学外の臨床実習要件等の必要単位数を修得できる。

2. 構成は臨床心理学基礎理論、臨床心理実践の基礎理論と心理臨床実習、心理査定を必修とし、発達、医学、社会、教育などの広範な専門分野からなる選択科目を構成している。これらは、生涯発達に基づいた人への支援に関する多様な知識の習得と感受性や思考力の育成を目指すためである。
3. 修士学位論文の作成のため、2年間にわたって指導教員による前期特別研究を履修し、指導教員に加えて2名の教員から助言を受ける指導体制をとっている。

<後期博士課程>

後期博士課程においては「後期特別研究」において指導教員より指導を受け、博士學位論文は、主査及び副査の3名以上の教員から指導を受け、学位審査を経て博士の学位を取得することができる。

■入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

<前期博士課程>

以下の資質を有する人を受け入れます。

1. 学部で修得した心理学に関する広範な知識をもとに臨床心理学に関する実践的な能力とコミュニケーション力を有している人
2. 心理学系以外の学部卒業者も含め、臨床心理学に対する強い関心と実践的な知識と技能を修得し、医療・福祉・教育、司法等々の分野で社会に貢献したいと考えている人。
3. 人に関する深い思索、自己研鑽へのたゆまない努力を行っていく資質のある人

筆答試験及び口述試験において、以上の資質を有していることを確認します。

<後期博士課程>

以下の資質を有する人を受け入れます。

臨床心理学の研究と実践の基礎を習得し、臨床心理学に関する研究のさらなる深化を目指し、実践から絶えず学び続けることのできる人

筆答試験及び口述試験において、以上の資質を有していることを確認します。